

JR足利駅の駅前広場整備について問う！



横山 育男 議員

問 電車で訪れた方たちを迎える、本市の顔とも言える足利駅の駅前広場について、今後の整備計画を聞きたい。

市長 平成28年8月にJR東日本と締結した「駅を中心としたまちづくり及び鉄道利用促進」では、駅のイメージアップや広場のバリアフリー化等に取り組むこととしている。駅前広場の再整備には多くの課題があることから、地域住民や関係機関と協議を進め、魅力ある広場となるよう検討していく。



▲JR足利駅の駅前広場

◆山姥切国広の再展示

問 京都国立博物館での刀剣展や実写版「刀剣乱舞」の公開を踏まえ、商店街や市民、刀剣ファン待望の山姥切国広の再展示を検討すべきではないか。

市長 山姥切国広展を契機に多くの刀剣ファンが足利市を知り、その後縁が続いていることはまちにとって大きな財産であった。再展示にはさまざまな問題もあるが、本市と刀剣とのゆかりについて研究を深めつつ所有者の意向も確認し、時機を逸しないよう検討を続けていく。

学校におけるICT環境の整備を！



富永 悦子 議員

問 教室でのコンピューター利用を視野に入れ、デスクトップパソコンからノートパソコンへの更新や、タブレット端末を導入すべきと考えるがどうか。

教育次長 文部科学省が示した「平成30年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」では、可動式コンピューターの整備の必要性が示されているため、学習用コンピューターの次回更新時期に合わせて検討していく。



▲小学校のパソコンルーム

◆新生児聴覚検査の公費助成

問 新生児聴覚検査の費用を公費で助成することにより、新生児を抱える世帯の経済的負担を減らすことができ、少子化対策にもつながると考えるがどうか。

健康福祉部長 平成29年度の本市における同検査の受診率は96・6%と高く、未受診児には4カ月児健診時に音への反応を確認し、聴覚に心配がある場合には健診医師から紹介状を出すなど早期に検査ができる体制を整えている。検査の公費助成については、県内や近隣の市町の動向、市の財源確保の見直しを含めて検討していく。

無期転換ルールについて問う！



吉田 晴信 議員

問 改正労働契約法によって定められた無期転換ルールは、有期労働契約が更新されて5年を超えたとき、無期労働契約に転換できるルールであるが、その周知啓発と労働者が申し込みしやすい環境づくりについて聞きたい。

産業観光部長 パンフレット等を活用した新制度の紹介や、企業に対する働きかけを実施するなどPRに努めている。今後も労働組合や労働団体等と連携を密にし、周知啓発活動の強化に取り組んでいきたい。

◆若者雇用対策

問 人材の確保は企業にとって事業の存続にかかわる大きな問題である。市としても対策を講じるべきと考えるが、若者の雇用促進に対してどのような方策を進めるのか。

産業観光部長 本市では県内でもいち早く、学校や雇用関係者、行政機関などで構成される足利市人材確保連携協議会を設置し、地域ぐるみで雇用確保の取り組みを進めている。今後も各方面の協力・支援体制を強化することで、市内企業への就職促進につなげていきたい。

